



## 地方の高度人材育成機関の設置検討への支援

- ものづくりの高度人材は、日本の産業の競争力を強化し、国力を高めるために重要であり、地方における高度人材育成に対する機能強化への支援を図りたい。

【提案・要望先】 文部科学省、経済産業省

### 1. 提案・要望内容

#### (1) 地方の高度人材育成機関の設置検討に向けた支援

- 設置方式や教員確保、学科・カリキュラム設定等に対する専門的な助言など地方における新たな高度人材育成機関の在り方に向けた検討の支援

#### (2) 地方の高度人材育成機関の設置に係る制度創設

- 地方における高度人材育成機関の設置を図る財政支援制度の創設

### 2. 提案・要望の理由

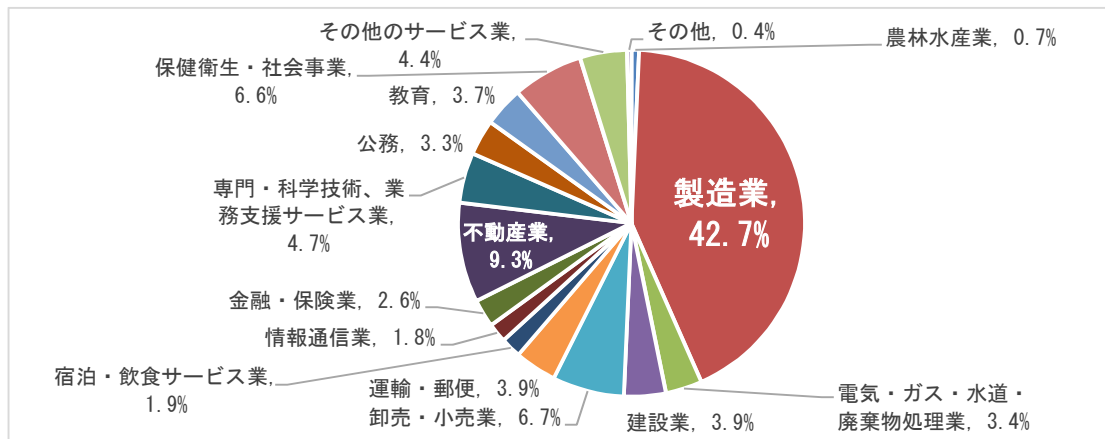
- 第4次産業革命と呼ばれる飛躍的な技術革新が進行する大きな変化の中で、日本や本県が将来にわたり競争力のある力強い産業を創出し、今後も持続的に発展していくためには、地域や世界の社会的課題を解決する起業家・イノベーター、AIやデータを活用することができる実践型人材など、これからの産業を担う高度人材の育成が不可欠である。
- 第二次産業の割合が46%を超える全国有数の内陸工業県である本県にとって、高度人材の育成は極めて重要である。経済団体や企業から高等専門学校の創設をはじめとする高度人材育成のニーズが高まっており、早急な環境整備が求められる。
- 企業の即戦力となる理工系分野の高度人材については、主に高等教育機関である大学や高等専門学校がその役割を担っている。本県はこれまで理工系大学を設置、誘致してきたが、県内定着に課題がある。

# (本県の取組状況と課題)

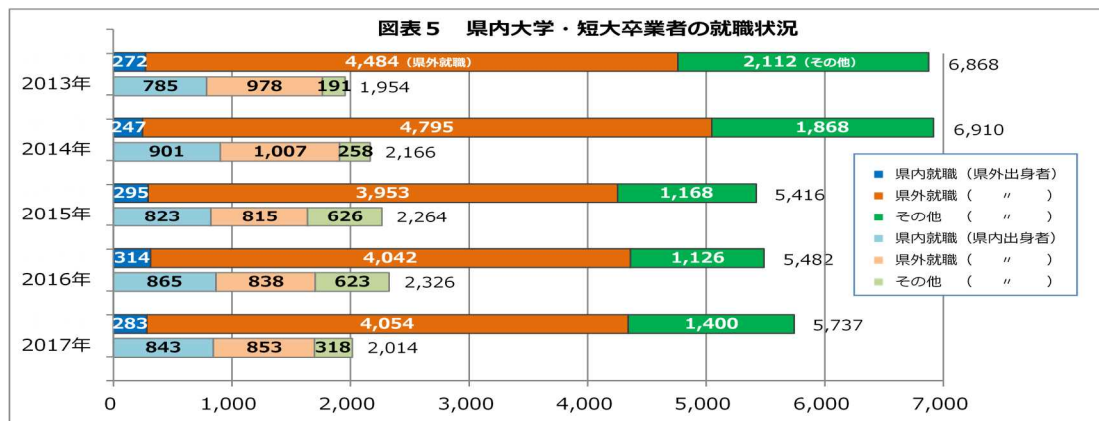
## 【本県の状況】

- ・ 県内総生産に占める製造業の割合 42.7% (全国1位)
- ・ 1 製造事業所あたり付加価値額 10 億 18 百万円 (全国2位)
- ・ 15-64 歳人口の割合 60.2% (近畿2位)
- ・ 交通の要衝という地の利から、企業や研究所が多く立地

### <経済活動別の県内総生産(名目)における構成比>



- ・ 県内 11 大学、2 短期大学が立地
- ・ 理工系学部は、龍谷大学理工学部、立命館大学理工学部、県立大学工学部
- ・ 大学、短大卒業者の県内定着率は低い。
- ・ 県内に高等専門学校はなく、ものづくりを担う実践型人材が不足
- ・ 県内の中学校卒業生のうち、毎年約 60 名が県外の高等専門学校へ進学



## 【本県の取組および課題】

- 庁内検討会、検討委員会（外部有識者）において検討を進めていく。

令和元年度	令和2年度		令和3年度
	庁内検討会		構想策定
	●方向性ととりまとめ	外部有識者による検討委員会	
・情報収集、課題整理	・産業界ニーズ調査(アンケート、ヒアリング) ・事例調査、関係機関調整		

- 早期に結論を出していくためには、国の財政的・技術的支援が必要。

担当：総合企画部企画調整課企画第一係  
TEL 077-528-3314